

平成 31 年 1 月 22 日
県と市町村との意見交換会資料

ILC（国際リニアコライダー）に関する最近の状況

岩手県 政策地域部

1 東北 ILC 推進協議会による要望(12/21)

(1) 要望先 加藤勝信(自民党総務会長)、左藤章(科学技術担当副大臣)、白須賀貴樹(文部科学政務官)

(2) 要望者 岩手県知事、宮城県知事、青森県、秋田県、山形県、福島県の各県東京事務所長

一関市長、奥州市長、大船渡市副市長、気仙沼市副市長

高橋東北 ILC 推進協議会代表、鈴木岩手県立大学学長

(3) 結果概要

- ・ 3月までには、国としてのスタンスを決め、それに向けて政府、党としての議論を進めていかなければならない(加藤総務会長)。
- ・ 文部科学省と軌を一にしていかなければならないことは理解願いたい(左藤副大臣)。
- ・ 学術会議の回答を踏まえ、政府としては慎重に判断する。学術的意義があるということは理解している(白須賀政務官)。

2 日本学術会議所見(12/19)と今後想定されるスケジュール

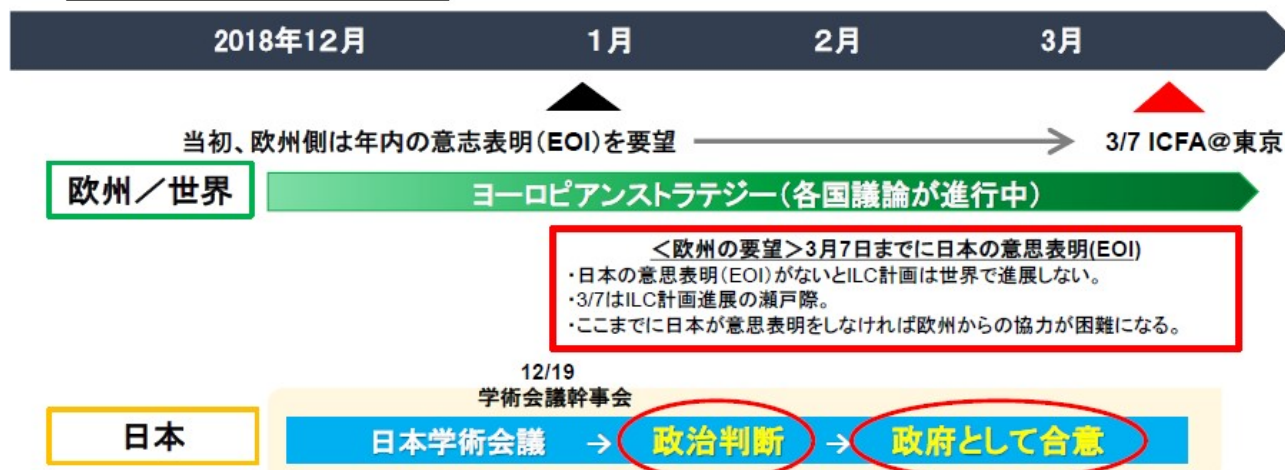
【総合所見(一部抜粋)】

現状で提示されている計画内容や準備状況から判断して、ILC 計画を日本に誘致することを日本学術会議として支持するには至らない。

【その他回答の内容】

- ・ 研究課題が極めて重要なものであることについては、高エネルギー素粒子物理学のコミュニティにおいて合意が得られている。⇒ 学術的意義の評価
- ・ 世界のトップクラスの科学者と切磋琢磨する環境において高度の研究人材が育成され、世界に輩出されていく拠点として発展するならば、その意義は大きい。⇒ 世界貢献への評価
- ・ 現時点では、資金面での適正な国際経費分担に関して明確な見通しは得られていない。

今後想定されるスケジュール



◆キーワード: ICFA(International Committee for Future Accelerators: 国際将来加速器委員会)

素粒子物理学実験分野(高エネルギー物理学分野)の最も高いレベルの国際委員会。大型研究所の所長と研究コミュニティの代表の集まり。